

PIERIA 料理イタリア語 基礎講座 ステップ2

【目次】

課	内容	コラム
1	1)所有形容詞 2)所有代名詞	接尾辞にみる料理用語
2	1)指示形容詞・代名詞 questo と quello 2)疑問詞(1)	接頭辞にみる料理用語
3	1)不規則動詞の直説法現在 2)疑問詞(2)	レストランのメニュー① 形式
4	1)直接目的語と間接目的語 2)signore などの肩書	レストランのメニュー② 単数・複数
5	1)近過去 2)ci と ne	料理名になった過去分詞
6	1) 受動態 2) 前置詞の用法	レストランのメニュー③ 前置詞 (di, a)

【この本の使い方】

「一歩進んで」コーナーとは？

イタリア語の文法には例外が多く、初めて学ぶ人はそのせいで「イタリア語は難しい」「文法は嫌いだ」と感じてしまうようです。なるべくストレスなく学習を進めるため、本テキストでは細かな文法規則や語学のトリビアを、この表のような「一歩進んで」というコーナーに集めました。

初めてイタリア語を学ぶ方は、まずは「一歩進んで」を飛ばして学習してみてください。基本をしっかりと理解したうえで「一歩進んで」を読むと、きっと目からうろこ。楽しいイタリア語の世界が広がるはずです。

PIERIA 料理イタリア語 基礎講座 レベル2 第5課

5.1. 代名小詞 ci(vi), ne の機能と形態

5.1. ci (vi)の機能 ⇒ 原則として「a+アルファ」を受ける

- 1) 「～へ」と方向性を表す前置詞句を受ける。

Vai alla stazione? **Ci** vado anch'io.

(君は駅へ行くの？ 僕も行きます)

* 「a+アルファ」のみならず、「～へ」を表すその他の前置詞句でも、同じように ci を使うことができます。

Va in Italia? **Ci** andiamo anche noi.

(イタリアに行くんですか、私たちもそこに行くんです)

Prima rosolate la cipolla in una casseruola, e **ci** aggiungete la pancetta.

(まず玉ねぎをゆっくりとソテーし、そこにパンチェッタを加えます)

- 2) a で始まる前置詞句を受ける。

この用法では、動詞や形容詞が前置詞 a を要求するということを知っておかなくてはなりません。

Lui riesce a distinguere le differenze tra vini, ma io non ci riesco.

(彼はワインの違いが分かるが、私にはわからない)

* この文の場合、ベースとして、riuscire a ... (～に成功する) があります。ci はこの文では a distinguere 以下を受けているわけです。

Maria compra una lavastoviglie.

- Non ci credo!

(マリアが食器洗浄機を買うんですって) (信じられません！)

* この文の場合、ベースとして credere a ... (～を信じる) があります。

ci と vi は同義ですが、vi が用いられるのは、書き言葉や ci が2回続くとき、語調が悪いときなどです。

5.2. ne の機能⇒ 原則として「di+アルファ」を受ける

(略)

練習問題 (5)

I 次のイタリア語文を日本語に訳すこと。

- 1) Questa signorina ha mangiato finora quattro pizze.
- 2) A Emanuele piace la polenta e ne parla sempre.

(略)

II 次の日本語をイタリア語に訳しなさい。

- 1) ケーキをもう1 カット(fetta)いかがですか?
— いいえ、結構です。私はもうたくさん食べました。(ne を使って)
- 2) 君はシチリアへ行ったことがあるかい?
— ええ、3ヶ月前前に行きました。いわしの Pasta(pasta con le sarde)を食べました。

(略)

【コラム5：過去分詞から生まれた料理用語】

とうとう過去分詞を勉強したので、過去分詞から生まれた料理用語をご紹介します。とても有名で、もはや日本語にもなっているものをピックアップしました。

基本的な流れとしては、まず過去分詞から、「～される」を意味する形容詞が発生します。これは英語も同じですね。そこから「～されたもの」という数々の料理が生まれています。

エスプレッソ (espresso : esprimere の過去分詞)

入門第3課のコラムで取り上げましたね。espresso とは、esprimere の過去分詞でもともとは「搾り出す」という意味でした。そこから「急行の」となりコーヒーを指すことになりました。

フリット (fritto : friggere の過去分詞)

fritto di funghi きのこのフリット、fritto misto ミックスフライなど様々な料理があります。fritto は、名詞について調理法を表す形容詞としても必須単語です。patate fritte は「フライドポテト」、uova fritte は「目玉焼き」です。

(略)